



不動産あれこれ掲示板

今年こそ取り組みたい！空き家売却のススメ①

1. 維持管理コストの削減

空き家の維持には、税金や保険、光熱費、清掃費用などがかかります。これらの費用が長期間続くと、負担が増していきます。売却によって、これらの費用を削減することができます。

2. 空き家の劣化防止

空き家は、長期間使われないことにより、劣化や破損が進みやすくなります。特に、湿気や害虫の発生、劣化した設

備などが問題になることがあります。売却を検討することで、これらの問題を早期に解消することが可能です。

3. 地域の問題回避

空き家があると、周囲の住民にとって景観や治安の問題になることがあります。また、空き家が不法侵入や犯罪の温床になることもあるため、売却して新たな住民を迎えることで地域の問題を回避できます。

教えて！ふくろう博士さん！不動産売却相談室



不動産のふくろう博士

Q. いま所有している空き家を取り壊して、家庭菜園をしようと思っているのですが問題ありますか？

いえ、もちろん問題はありません。但し、更地にすると住宅用地の特例という軽減措置が適用されなくなるので固定資産税が高くなることにご注意ください。また、野菜を理由に、多くの虫が集まったり肥料のにおいが広がったりして近所の人が苦情を訴えるケースが出て来る可能性もあるので近隣の方への配慮もお忘れなくどうぞ。

当社のご紹介



熊本の不動産のご相談はお任せください
(株)西日本ハウジング

- ◆住所:熊本市中央区黒髪 3-11-26
- ◆TEL:096-343-1515
- ◆FAX:096-343-1550
- ◆URL:https://kurokami.info



◆営業時間:9:00~18:00(水曜定休日)

済々黌高校前バス停 徒歩2分です。お気軽にお立ち寄りください。



熊本市の不動産のことはぜひ当社へご相談下さい

代表取締役 福岡範之

西日本ハウジングと地域の皆さまのコミュニケーション情報誌



西日本ハウジングジャーナル

2025年1月号

今月のピックアップテーマ



心身ともに癒される 和室の実力

◆和室があるとどんないいことがあるの？

和室は日本の伝統的な家づくりではありますが、明確な定義があるわけではありません。床に敷き詰めた畳や、部屋の仕切りになる襖や障子があると、私たちがイメージする和室になります。特に素足でも気持ちよく過ごせる畳は平安時代に登場していたようですが、現代のような和室の形状になったのは、鎌倉から室町時代と言われています。

なんとなく精神的にも落ち着く和室は、床が柔らかいためそのまま寝そべることもできますし、コタツ机などを置いて居間として使うこともできます。洋室と比べて多様な使い方ができるのも特徴の一つです。和室の代名詞とも言える畳は、とても吸湿性に優れているので、高温多湿な日本の気候に最適で、抗菌作用もあるので感染症の防御にも役立つと言われています。障子も通気性がいいため、湿気が多い時期には涼しく過ごせるという利点があります。そのため、客間としての利用にも最適です。清潔感がある部屋で気持ちよく過ごしていただけますね。

◆和室をいつも清潔に保つためには？

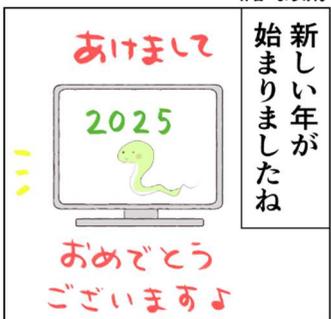
なにかと汎用性の高い和室ですが、注意しなければいけないのが、日ごろの管理です。例えば畳は傷つきやすく、カビやダニの温床になりやすい藨草(いぐさ)を表面に使用しています。細かな繊維の隙間もたくさんあるので、定期的に掃除をしないとダニの棲み処になってしまいます。ほうきを使う場合でも、掃除機を使う場合でも畳の目に沿って掃除をするとよいでしょう。ペットがいることで気になっている方には、今はペット専用の畳もあるようなので検討してみてもいいでしょうか。襖の日頃の手入れは基本的には、ハタキやそれに代わるもので埃を落とす程度で構いませんが、5年に1度くらいのスパンで張り替えを考えると良いのではないのでしょうか。

和室にはたくさんの利点があります。リフォームやDIYなど、いろいろと検討してみてもいいのではないでしょうか。



ゆったりぽん!

034 作者 ようみん



新しい年が
始まりましたね



2025年

1 January 定休日です

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



年賀状ヒストリア

平安時代からあった「新年の挨拶」

年賀状の起源は平安時代にさかのぼるとされています。親族やお世話になった人々を訪ねて新年の挨拶をする「年始回り」の習慣が広まっていた。ただし、挨拶に手紙を用いるのは主に貴族層で、遠方の人への挨拶に限られていたようです。江戸時代になると、郵便制度の先駆けである「飛脚」の整備が進み、庶民も手紙で挨拶を済ませることが増えました。

満を持して登場した「年賀状」

現在のようなはがき形式の年賀状

が誕生したのは、1873年(明治6年)に官製はがきが発行されたことがきっかけです。

明治20年頃には、年賀状を送ることが新年の恒例行事として定着しました。多くの人が「1月1日」の消印を目指して年末に年賀状を投函したため、郵便局の業務量は通常の何十倍にも増加したといえます。

これを受けて、年賀状を年末に受け付け、元日に一斉配達する「年賀郵便」の特別取扱いが導入されました。この仕組みは、現在の年賀状配達の原型となっています。



意外に当たるぞ! 今月の不動産占い



- 戸建てマイホーム建築を検討されている方は、良い土地との出会いあり。
- 土地活用を考えている方は、高齢者住宅としての活用が吉。
- 投資物件の売却には、最高のタイミングが到来。
- 冬晴れの日は、窓を開けて空気を入れ替えれば、運氣舞い込む。
- 戸建てマイホームの売却ならば、最高のタイミングが到来。
- 物件を見に行く時にペンを持参される方は、「黒色」のものが吉。
- 待ち人来る。不動産売却では、人の良い買主が現れる可能性大。
- 「ゴミの分別をしっかりと徹底すると、運気を逃さないでしょう。」
- 中古マンションを探している方は、理想の物件に出会えます。
- マンション売却を始めるなら、最高のタイミングです。
- 空き家を保有されている方は、売却することで幸運巡ってくる。
- 不動産投資を始めるには最高のタイミング。オフィス賃貸に吉兆。